

ふるさと納税の今後は

町 本来の目的を検討

問 返礼品の見直しについてどのように考えているのか。

企画財政課長 町では、7段階に分けて対応している。返礼品の価格については総務省の通達を踏まえ、他市町の動向等を見極め、応援券、特産品以外にも検討している。

問 ゴルフ場利用券導入の促進を図る考えは。

企画財政課長 ふるさと納税推進事業実施要領に基づき返礼品を贈呈している。観光協会に加盟しているゴルフ場から提供があれば、問題なく導入できる。

町長 本町は関東有数の別荘地であり、不動産を取

得して二地域居住をされている方が多い。他の地域のふるさと納税と違ってもよいと考える、応援券については5割、特産品については4割で対応を考える。



返礼品としてゴルフ場利用券導入促進を

旧立正佼成会の土地・建物利活用は

町 財政負担の少ない再生方法検討

問 耐震診断結果を踏まえて今後どう対応を考えているのか。

町長 建物については、大正後期から昭和初期、100年以上たっている大変風情のある貴重な建物であるが、東日本大震災により大変な被害を受けた。耐震診断結果は、目標数字に達していないので倒壊の恐れがあり、消防法、建築基準

法他クリアしなければならぬ基準がある。費用は1億とも2億ともいわれている。今後財政負担の少ない再生方法を考えている。

問 平成26年6月に購入し、約3年が経つ。取得金額については建物評価額は入っていない。黒田原住民、他住民から、いつごろから何をするのかと言う意見が聞かれる。利活用について

他団体からの問い合わせはあるか。

町長 具体的にはない。いろいろな手法、民間事業を導入する等、何か話が進められれば検討したいと考える。



活用が期待される旧立正佼成会土地・建物